

国語教養

教 科	国 語	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	普通科総合選択 3年2組～7組
使用教科書	学校設定科目のために教科書なし。単元に応じて教師が作成した教材を用いる。				
副教材等	「国語必携ライトパーフェクト演習」（尚文出版）国語辞典、漢和辞典、参考書、資料				

1 学習の到達目標

<p>① 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成します。</p> <p>② 伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし情緒を豊かにし、言語感覚を磨きます。</p> <p>③ 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成します。</p> <p>④ 様々な文章を読み、読書に親しむ態度を育成します。</p>
--

2 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

月	単 元 名	教 材 ※は備考	主な学習の領域	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	語 種	主な評価方法
4	国語の基礎①	常用漢字の基礎知識	書く	・語彙を豊かにし、様々な文章を読み、理解し、使えるようになる。	D(イ)	授業の取組の様子 学習プリント 小テスト
5	国語の基礎②	四字熟語・ことわざ 慣用句	書く	・語彙を豊かにし、様々な文章を読み、理解し、使えるようになる。 ・例文を用いて、理解を深める。	D(ア) D(イ) (ウ)	授業の取組の様子 学習プリント 小テスト
6	詩の世界	近代・現代の詩	読む 話す 聞く	・好きな詩を選定し、表現方法を学ぶ。 ・朗読や群読を通して、詩の世界を深く理解する。	A(ア) B (ウ)	授業の取組の様子 創作 レポート
7	読書に親しむ	私の一冊	読む 書く	・好きな作家と作品を選定し、作品を読み、感想文を書く。 ・本の紹介文を書き、発表する。	B (ウ) C(ア)	授業の取組の様子 感想文 レポート
9	文学史演習①	上代から近世文学	読む 書く	・文学の発生について学ぶ。 ・古典文学の特徴を知る。	B(ウ) D (ウ)	授業の取組の様子 学習プリント 小テスト
10	文学史演習②	近代文学	読む 書く	・近代文学史に興味を持つ。 ・近現代の代表的な作品に親しむ。	C(ウ) D (ウ)	授業の取組の様子 学習プリント 小テスト
11	沖縄の文学	沖縄の古典文学	読む 書く	・沖縄の文学について興味を持たせる。 ・身近な地域の文学に目を向ける。	C(ア) A(ウ)	授業の取組の様子 レポート
12	沖縄の文学	沖縄の近代文学	読む 書く	・沖縄の文学の特徴をまとめる。 ・作品と作家について調べ、レポートを作成する。	B(ア) C(イ) A(ウ)	授業の取組の様子 レポート
1	実用国語①	敬語について	書く 話す 聞く	・実社会で敬語がどのような使われ方をしているか、社会人として身につけておくべき基礎知識を学ぶ。	D (ウ) A(ウ)	授業の取組の様子 学習プリント
2	実用国語②	国語常識、手紙の書き方	書く	・様々な場面で的確に表現する力をつける。	D (ウ)	授業の取組の様子 学習プリント

【上の表にある「言語活動」としては、次のようなことを行います。】

- A 話すこと・聞くこと
 - (ア) 話題を選んで、スピーチや説明などを行います。
 - (イ) 情報を収集し活用して、報告や発表などを行います。
 - (ウ) 課題について調べたり考えたりしたことを基にして、話し合いや討論などを行います。
- B 書くこと
 - (ア) 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書きます。
 - (イ) 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書きます。
 - (ウ) 本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりします。
- C 読むこと
 - (ア) 文章の内容を叙述に即して的確に
 - (イ) 考えを広げるため、様々な現代の文章を読み比べます。
 - (ウ) 課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表します。
- D 言語事項
 - (ア) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法、及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。
 - (イ) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。
 - (ウ) 国語の成り立ちや特質言語の役割などを理解すること。

3 課題・提出物等

・各単元において、学習プリントやレポート等を提出してもらいます。

4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 <ul style="list-style-type: none">・ 授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況など）・ 学習プリントやレポート、意見文、感想文などの提出物を中心に、授業態度等を考慮して総合的に評価する。				

5 担当者からのメッセージ

国語総合、現代文、古典の復習を基本とし、国語の基礎的知識を身につけ、更に専門な学習を行います。様々な作品を通して、その表現を学び、自らのものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書する態度を身につけるための授業を行います。